



# CV Series / 共通注意事項①

ご使用になる前に必ずお読みください。  
適応シリーズ：CVJ5, CVJ3

## マニュアル操作について

### ⚠ 警告

①マニュアル操作しますと、接続された装置が作動しますので、危険のないことを確認してから行ってください。

### ■ノンロックプッシュ式[標準タイプ]

矢印の方向に押してください。



## AC200V, AC220V仕様の電磁弁について

### ⚠ 警告

①グロメット、L, M形プラグコネクタタイプのAC仕様の電磁弁は、パイロット弁部に整流回路を内蔵して、DCコイルを駆動させています。

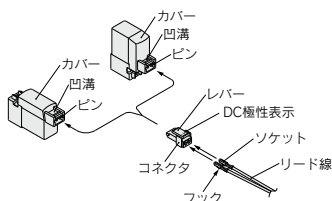
AC200V, AC220V仕様のパイロット弁は、通電時は内蔵された整流回路が発熱するため、通電条件によっては外表面が高温になり、やけどなどの恐れがありますので、触れないでください。

## プラグコネクタの使用方法

### ⚠ 注意

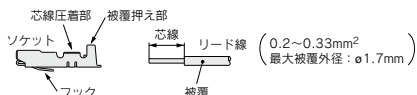
①コネクタの着脱

- コネクタを装着する場合レバーとコネクタ本体を指ではさむようにして真直ぐピンに挿入し、カバーの凹溝にレバーの爪を押込むようにしてロックします。
- コネクタを引き抜く場合親指でレバーを押し下げて爪を凹溝から外しながら真直ぐに引いて外します。



②リード線とソケットの圧着

リード線の先端を3.2~3.7mm皮むきして、芯線の先を揃えてソケットに入れ、圧着工具により圧着してください。この時、芯線圧着部にリード線の被覆が入らないようご注意ください。なお圧着は専用の圧着工具をご使用ください。(専用圧着工具につきましては、当社にご確認ください。)



## プラグコネクタの使用方法

### ⚠ 注意

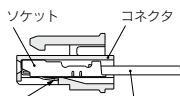
③リード線付ソケットの着脱

#### ●装着する場合

ソケットをコネクタの角穴(⊕, ⊖表示あり)に挿入し、更にリード線をつまんで最後まで押してソケットのフックをコネクタの座に引掛けロックします。(押し込むとフックが開いて自動的にロックされます。)次にリード線を軽く引いてロックされていることを確認してください。

#### ●引き抜く場合

ソケットをコネクタから引き抜く時は、ソケットのフックを先の細い棒(約1mm)で押し込みながら、リード線を引き抜いてください。なお、ソケットをそのまま再使用する場合は、フックを外側へ広げてください。



## サージ電圧保護回路

### ⚠ 注意

〈DCの場合〉  
グロメット、L, M形プラグコネクタタイプ

#### ■標準タイプ(極性有)

##### サージ電圧保護回路付(□S)

逆接防止ダイオード

赤(+)

黒(-)

##### ランプ・サージ電圧保護回路付(□Z)

逆接防止ダイオード

赤(+)

黒(-)

#### ■無極性タイプ

##### サージ電圧保護回路付(□R)

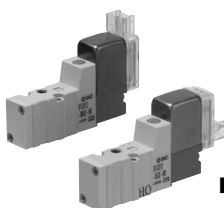
(-) (+)

(+) (-)

##### ランプ・サージ電圧保護回路付(□U)

(-) (+)

(+) (-)



- 標準タイプは極性を+、-表示に合わせて接続してください。(無極性タイプの場合はどちらに接続しても使用できます。)
- 標準タイプのDC24V, 12V以外の電圧仕様の場合は逆接防止ダイオードがありませんので、極性を間違えないように注意してください。
- あらかじめ、リード線が接続されている場合には、+赤-黒となっています。



# CV Series / 共通注意事項②

ご使用になる前に必ずお読みください。  
適応シリーズ：CVM5, CVM3, MVGQ

## サージ電圧保護回路

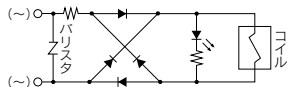
### ⚠ 注意

〈ACの場合〉

(整流器でサージ電圧の発生を防止していますのでSタイプはありません。)

グロメット、L、M形プラグコネクタ

ランプ付(□Z)



## 選定

### ⚠ 警告

①仕様をご確認ください。

本カタログ記載の製品は、圧縮空気システムにおいてのみ使用されるように設計されています。仕様範囲外の圧力や温度では破壊や作動不良の原因となりますので、使用しないでください。(仕様参照)

②長期連続通電

- バルブを長期間連続的に通電すると、コイルの発熱による温度上昇で電磁弁の性能低下および寿命低下や近接する周辺機器に悪影響を与える場合があります。

③漏洩電圧

特にスイッチング素子と並列に抵抗器を使用したり、スイッチング素子の保護にC-R素子(サージ電圧保護)を使用している場合は、それぞれ抵抗器やC-R素子を通して漏洩電流が流れるため漏洩電圧が増加しますのでご注意ください。残留する漏洩電圧の大きさは下記値におさえてください。



#### DCコイルの場合

定格電圧の3%以下におさえてください。

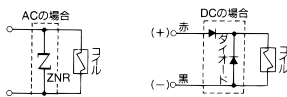
#### ACコイルの場合

定格電圧の8%以下におさえてください。

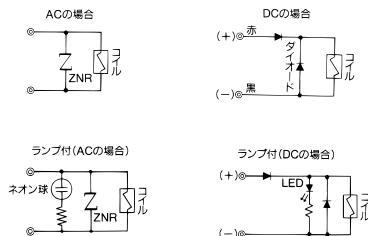
## ランプ・サージ電圧保護回路

### ⚠ 注意

グロメットタイプの場合

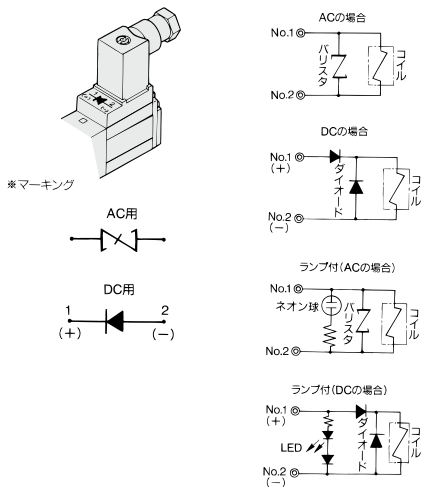


L、M形プラグコネクタタイプの場合



DCの場合には、極性をコネクタの+表示に合わせて接続してください。あらかじめ、リード線が接続されている場合には+赤、-黒となっています。

DIN形ターミナルの場合



DCの場合には、コネクタの端子No.1にプラス(+)側、端子No.2にマイナス(-)側を接続してください。(端子台のマーキングをご参照ください。)

CVQ

CVQM

CVJ□

CVM□

CV3

CVS1

MVGQ

D-□

-X□



## CV Series / 共通注意事項③

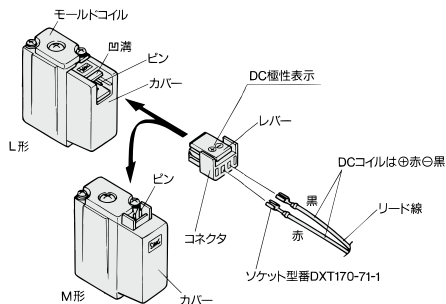
ご使用になる前に必ずお読みください。  
適応シリーズ：CVM5, CVM3, MVGQ

### プラグコネクタの使用方法

#### ⚠ 注意

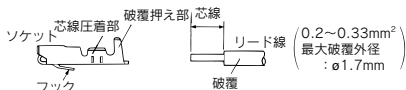
##### ① コネクタの着脱

- コネクタを装着する場合レバーとコネクタ本体を指ではさむようにして真直ぐピンに挿入し、カバーの凹溝にレバーの爪を押し込むようにしてロックします。
- コネクタを引抜く場合親指でレバーを押し下げて爪を凹溝から外しながら真直ぐに引いて外します。



##### ② リード線とソケットの圧着

- リード線の先端を3.2~3.7mm皮むきして、芯線の先を揃えてソケットに入れ、圧着工具により、圧着してください。この時、芯線圧着部にリード線の被膜が入らないようにご注意ください。なお圧着は専用の圧着工具をご使用ください。(圧着工具:型番DX170-75-1)



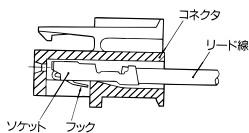
##### ③ リード線付ソケットの着脱

###### ●装着する場合

ソケットをコネクタの角穴(⊕, ⊖表示あり)に挿入し、更にリード線をつまんで最後まで押してソケットのフックをコネクタの座に引掛かけロックします。(押し込むとフックが開いて自動的にロックされます。)次にリード線を軽く引いてロックされていることを確認してください。

###### ●引き抜く場合

ソケットをコネクタから引抜く時は、ソケットのフックの先の細い棒(約1mm)で押し込みながら、リード線を引き抜いてください。なお、ソケットをそのまま再使用する場合は、フックを外側へ広げてください。



### 選定

#### ⚠ 警告

##### ①仕様をご確認ください。

本カタログ記載の製品は、圧縮空気システムにおいてのみ使用されるように設計されています。仕様範囲外の圧力や温度では破壊や作動不良の原因となりますので、使用しないでください。(仕様参照)

##### ②長期連続通電

- バルブを長期間連続的に通電すると、コイルの発熱による温度上昇で電磁弁の性能低下および寿命低下や近接する周辺機器に悪影響を与える場合があります。